



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社サカイ引越センター 上場取引所 東
コード番号 9039 URL <https://www.hikkoshi-sakai.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 哲康
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山野 幹夫 TEL 072-244-1174
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	32,915	3.6	5,199	△7.7	5,284	△7.2	3,595	△6.6
2024年3月期第1四半期	31,784	5.1	5,631	15.1	5,691	14.9	3,848	8.9

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 3,565百万円 (△7.3%) 2024年3月期第1四半期 3,847百万円 (8.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	88.42	—
2024年3月期第1四半期	94.66	—

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	114,908	91,280	79.4
2024年3月期	120,811	89,312	73.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 91,280百万円 2024年3月期 89,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	30.00	—	38.00	68.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	15.00	—	40.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	58,747	2.9	6,640	△6.3	6,750	△6.0	4,516	△6.0	111.08
通期	120,396	3.0	12,943	1.6	13,122	1.7	8,501	1.7	209.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社サカイパンドロジ、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	42,324,000株	2024年3月期	42,324,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,664,272株	2024年3月期	1,664,272株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	40,659,728株	2024年3月期1Q	40,659,728株

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(連結範囲の重要な変更)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復が見られました。一方で欧米における高い金利水準の継続に伴う為替相場の変動や不安定な国際情勢を背景とする原材料価格の上昇等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

引越業界においても、新設住宅着工戸数や移動者数が横ばいで推移しており、厳しい状況が続いております。

この様な状況の下、当社グループは2024年問題や業界の慢性的な人手不足への対応として自社でドライバーを育成する体制の強化をしたこと、また管理者の育成支援や職場の環境整備に取り組み業務の効率化を推し進めたことで、作業件数は220,495件（前年同四半期比0.7%増）となり、引越単価も前年同四半期比1.4%増と好調に推移しました。しかし引越業界において繁忙期である4月の土日が前年より少ないこと等が影響したことにより、利益が前年同四半期比を下回りました。

当第1四半期連結会計期間から株式会社サカイパングロジを連結の範囲に含めた結果、売上高は32,915百万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益5,199百万円（前年同四半期比7.7%減）、経常利益5,284百万円（前年同四半期比7.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,595百万円（前年同四半期比6.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

電気工事事業及びリユース事業においては、引越事業の作業件数が好調に推移した影響をうけ、引越付随事業の業績が伸びたことから売上高、利益共に好調でした。一方、クリーンサービス事業においては人件費等の上昇により利益が前年同四半期比を下回りました。

報告セグメント	売上高（百万円）	前期比（%）	セグメント利益（百万円）	前期比（%）
引越事業	28,298	103.2	4,675	91.0
電気工事事業	1,326	104.0	317	113.7
クリーンサービス事業	1,367	100.5	119	85.3
リユース事業	1,759	111.6	44	151.0
その他	162	102.2	132	114.4
調整額	—	—	△5	—
合計	32,915	103.6	5,284	92.8

（注1）その他の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、不動産賃貸業等であります。

（注2）セグメント利益の調整額△5百万円はセグメント間取引消去等であります。

（注3）セグメント利益の合計は、連結財務諸表の経常利益と調整しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較し6,379百万円（15.2%）減少の、35,612百万円となりました。

これは、主として受取手形、売掛金及び契約資産の減少（前連結会計年度末と比較し5,670百万円の減少）によるものであります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末と比較し475百万円（0.6%）増加の79,296百万円となりました。

これは、主として土地の増加（前連結会計年度末と比較し638百万円の増加）があったものの、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産の減少（前連結会計年度末と比較し327百万円の減少）によるものであります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較し8,064百万円（29.6%）減少の19,135百万円となりました。これは、主として、買掛金の減少（前連結会計年度末と比較し3,724百万円の減少）、前受金の減少（前連結会計年度末と比較し1,651百万円の減少）、未払法人税等の減少（前連結会計年度末と比較し1,254百万円の減少）によるものであります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末と比較し192百万円（4.5%）増加の4,492百万円となりました。

これは、主として長期借入金の増加（前連結会計年度末と比較し367百万円の増加）によるものであります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較し1,968百万円（2.2%）増加の91,280百万円となりました。

これは、主として利益剰余金の増加（前連結会計年度末と比較し1,998百万円の増加）によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2024年5月8日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,539	29,027
受取手形、売掛金及び契約資産	9,781	4,111
商品	1,320	1,304
その他	1,362	1,183
貸倒引当金	△12	△14
流動資産合計	41,991	35,612
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	10,790	10,740
土地	56,763	57,402
リース資産（純額）	798	770
その他（純額）	2,081	2,155
有形固定資産合計	70,434	71,068
無形固定資産		
のれん	85	76
その他	328	445
無形固定資産合計	413	521
投資その他の資産		
その他	7,982	7,715
貸倒引当金	△9	△10
投資その他の資産合計	7,972	7,705
固定資産合計	78,820	79,296
資産合計	120,811	114,908
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,881	3,156
短期借入金	2,787	1,847
リース債務	354	365
未払法人税等	2,763	1,508
前受金	3,490	1,839
賞与引当金	852	306
その他	10,069	10,109
流動負債合計	27,199	19,135
固定負債		
長期借入金	1,358	1,725
リース債務	449	411
退職給付に係る負債	41	42
資産除去債務	56	56
その他	2,394	2,256
固定負債合計	4,300	4,492
負債合計	31,499	23,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,731	4,731
資本剰余金	4,949	4,949
利益剰余金	83,487	85,485
自己株式	△3,814	△3,814
株主資本合計	89,354	91,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	366	337
土地再評価差額金	△409	△409
その他の包括利益累計額合計	△42	△72
純資産合計	89,312	91,280
負債純資産合計	120,811	114,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	31,784	32,915
売上原価	18,302	19,391
売上総利益	13,482	13,523
販売費及び一般管理費	7,850	8,323
営業利益	5,631	5,199
営業外収益		
受取利息	1	7
受取配当金	15	27
持分法による投資利益	0	—
その他	47	58
営業外収益合計	64	93
営業外費用		
支払利息	3	5
持分法による投資損失	—	1
その他	1	2
営業外費用合計	4	8
経常利益	5,691	5,284
特別利益		
固定資産売却益	14	10
その他	0	—
特別利益合計	14	10
特別損失		
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	5,706	5,295
法人税、住民税及び事業税	1,706	1,354
法人税等調整額	150	345
法人税等合計	1,857	1,699
四半期純利益	3,848	3,595
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,848	3,595

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	3,848	3,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△29
その他の包括利益合計	△1	△29
四半期包括利益	3,847	3,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,847	3,565
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、株式会社サカイパンダロジの重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	338百万円	431百万円
のれんの償却額	8	8

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	引越事業	電気工事 事業	クリーン サービス 事業	リユース 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	27,412	1,274	1,361	1,577	31,625	159	31,784	—	31,784
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	960	10	10	981	21	1,002	△1,002	—
計	27,412	2,235	1,371	1,587	32,607	180	32,787	△1,002	31,784
セグメント利益	5,138	279	140	29	5,587	115	5,703	△12	5,691

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△12百万円はセグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	引越事業	電気工事 事業	クリーン サービス 事業	リユース 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	28,298	1,326	1,367	1,759	32,752	162	32,915	—	32,915
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	10	1,004	32	10	1,058	30	1,089	△1,089	—
計	28,309	2,330	1,400	1,770	33,811	193	34,004	△1,089	32,915
セグメント利益	4,675	317	119	44	5,157	132	5,290	△5	5,284

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△5百万円はセグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。